

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		葬祭費（国保会計）〔国民健康保険葬祭費支給事業〕																																																											
予算科目	款	2	保険給付費	項	5	葬祭費	目	1	葬祭費	事業番号	1																																																		
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）																																																												
担当部署・課長名	保険年金 課				国民健康保険給付 係				課長名	岩野 秀夫																																																			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 5																																																				
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書（ページ）	63																																																				
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）																																																							
	東大和市国民健康保険被保険者が死亡したときの遺族					東大和市国民健康保険被保険者数（年報年度平均人数）																																																							
	→																																																												
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）																																																							
	被保険者の遺族の葬祭に係る経済的負担の一部軽減					①葬祭費支給件数/国民健康保険被保険者数 ②葬祭費支給金額/国民健康保険被保険者数																																																							
	→																																																												
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）																																																							
	葬祭費は、国民健康保険の相対的の必要給付に位置づけられ、東大和市国民健康保険条例第9条の規定により、国保被保険者が死亡したときに葬祭を行った者に5万円を支給している。					①葬祭費支給件数 ②葬祭費支給額																																																							
	→																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度実績</th> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度目標</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>19,587</td> <td>18,818</td> <td>18,472</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>① % ② 円</td> <td>①0.59 ②294</td> <td>①0.57 ②290</td> <td>①0.64 ②319</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>②の目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7">目標値設定の考え方 申請者に対し、適正に給付を実施する。「目標値」の設定については、なじまない。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td></td> <td>①115 ②5,750,000</td> <td>①108 ②5,400,000</td> <td>①118 ②5,900,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	対象指標	①の数値	人	19,587	18,818	18,472		成果指標	②の数値	① % ② 円	①0.59 ②294	①0.57 ②290	①0.64 ②319		目標	②の目標値						目標値設定の考え方 申請者に対し、適正に給付を実施する。「目標値」の設定については、なじまない。							活動指標	③の数値		①115 ②5,750,000	①108 ②5,400,000	①118 ②5,900,000				
	単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標																																																								
		平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標																																																							
対象指標	①の数値	人	19,587	18,818	18,472																																																								
成果指標	②の数値	① % ② 円	①0.59 ②294	①0.57 ②290	①0.64 ②319																																																								
目標	②の目標値																																																												
目標値設定の考え方 申請者に対し、適正に給付を実施する。「目標値」の設定については、なじまない。																																																													
活動指標	③の数値		①115 ②5,750,000	①108 ②5,400,000	①118 ②5,900,000																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業費（実績）</th> <th>円</th> <th>5,750,000</th> <th>5,400,000</th> <th>5,900,000</th> <th rowspan="8"> ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。） </th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">財源</td> <td>一般財源</td> <td>円</td> <td>5,750,000</td> <td>5,400,000</td> <td>5,900,000</td> </tr> <tr> <td>特定財源（国・都・他）</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>（うち受益者負担）</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費（目安）</td> <td>所要人数（再任用以外）</td> <td>時間</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>所要人数（再任用）</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員人件費（再任用以外）</td> <td>円</td> <td>336,000</td> <td>344,000</td> <td>344,000</td> </tr> <tr> <td>職員人件費（再任用）</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費＋人件費</td> <td>円</td> <td>6,086,000</td> <td>5,744,000</td> <td>6,244,000</td> </tr> </tbody> </table>												事業費（実績）		円	5,750,000	5,400,000	5,900,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）	財源	一般財源	円	5,750,000	5,400,000	5,900,000	特定財源（国・都・他）	円				（うち受益者負担）	円				人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	80.0	80.0	80.0	所要人数（再任用）	時間				職員人件費（再任用以外）	円	336,000	344,000	344,000	職員人件費（再任用）	円				事業費＋人件費		円	6,086,000	5,744,000	6,244,000
事業費（実績）		円	5,750,000	5,400,000	5,900,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）																																																							
財源	一般財源	円	5,750,000	5,400,000	5,900,000																																																								
	特定財源（国・都・他）	円																																																											
	（うち受益者負担）	円																																																											
人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	80.0	80.0	80.0																																																								
	所要人数（再任用）	時間																																																											
	職員人件費（再任用以外）	円	336,000	344,000	344,000																																																								
	職員人件費（再任用）	円																																																											
事業費＋人件費		円	6,086,000	5,744,000	6,244,000																																																								
4 環境変化等	（1）開始年度 昭和35 年度																																																												
	（2）環境の変化 葬祭費は、国民健康保険の相対的の必要給付に位置づけられており、東大和市国民健康保険条例第9条の規定に基づき支給している。																																																												

事業名称	葬祭費（国保会計）〔国民健康保険葬祭費支給事業〕			
担当部署・課長名	保険年金	課	国民健康保険給付	係 課長名 岩野 秀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	給付実績及び国保財政を考えると、支給額を据え置きながら事業を維持することが必要と考える。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	給付実績及び国保財政を考えると、支給額を据え置きながら事業を維持することが必要と考える。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 社会保障の充実			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			